

大会あいさつ

『鎌倉から世界へ』

当スローガンのもと続けてまいりました鎌倉市跆拳道選手権大会も、第 24 回を迎える事ができました。ひとえに選手の皆さまの努力と、スタッフ、保護者の皆さまのご支援によるものと厚く御礼申し上げます。

保護者の皆さま、日々お子さまたちへの温かいご支援 誠にありがとうございます。今大会を日々の発表会と位置付けられ、お子さまたちの成長をご覧頂ければ幸いです。

今年 3 月の全日本大会では、岡澤道場より大勢のチャンピオン、そしてメダリストたちが誕生しました。一般クラスに於いて少年部時代から修練する菱伊里緒選手(3 段)が見事 MVP に輝きました。継続は力を実践してくれました。

里緒選手も、初めから勝ち続けてきた訳ではありません。負けを知り涙の味を噛みしめ、その悔しさを乗り越えて栄光を掴み取りました。あきらめない気持ちで、求め続けてきたからこそ夢を掴む事ができました。

今大会では初めての試みとして、団体戦を導入しました。跆拳道は個人競技と思われがちですが、国際大会では団体戦がメインの競技として位置づけられます。型の部では入退場時もパフォーマンスの一つとして演出します。なぜ団体戦ですか!?!とご質問も頂きましたが、チーム力を競い合う団体戦の良さにも気付いて頂ければ何よりかと思えます。

また今大会のメインに、団体組手を導入いたしました。受けて立つ岡澤道場☆大船本部に対して、T.K.KING 鎌ヶ谷本部道場の指導陣が手を挙げて下さいました。これを機に沢山の道場が挙手してくれる事を望みます。

通常団体組手は一人ずつ勝敗を出し、3 勝を先取したチームが勝利します。ただ今大会は、5 人すべての試合が終了するまで勝敗を出しません。5 名 vs 5 名の総得点で勝敗を決める特別ルールとしております。

団体組手は無差別級で競技するのですが、今大会は年令枠も超えて試合を行います。安全を重視し、ライトコンタクト制にて技と心を競い合う完全なポイントルールとしております。

選手の皆さまは、より高い目標を持ち心を輝かせて下さい。鎌倉市大会は、原点にして頂点を目指しております。世界を制する者は鎌倉を制す。すべては、ここ鎌倉から始まります。

私たちはその理想を掲げ、続けております。参加される選手全員が、希望のもとに活躍できるよう道を拓きます。本日は、日々の努力が実りますよう期待しております。

最後に、皆さまが怪我なく、笑顔で成功を収める事を心より祈念いたします。

大会実行委員長 岡澤 一



大会 実行委員長
岡澤 一 師賢 7 段
岡澤道場 館長
元 世界ミドル級王者 他



大会 競技委員長
田部 豊和 師範 6 段
岡澤道場 事務局長
元 世界マイクロ級王者 他



大会 運営委員長
石田 峰男 師範 6 段
岡澤道場 統括部長
元 ワールドカップ 団体型王者